

# 令和4年度 事業実績

(公益目的事業)

I	常設展示	P. 1
II	特別展示	P. 5
III	資料収集	P. 6
IV	資料管理・保全	P. 7
V	調査・研究	P. 7
VI	図書室等の運営	P. 8
VII	教育普及	P. 9
VIII	施設維持管理・貸出等	P. 14
IX	広報事業	P. 16

※ 本館は、東京都による全面的な設備機器更新等の大規模改修工事を行うため、令和4年4月1日から令和7年度中休館（予定）となっている。

## I 常設展示

### 1 本館

#### (1) 常設展示

令和4年4月から大規模改修工事に伴い休館中であるが、工事を計画どおり実施できるよう東京都と連携・協力するとともに、令和7年度中（予定）のリニューアルオープンに向け、常設展示の準備を行った。

#### 〔常設展観覧者実績〕

区分	令和4年度(A)	対前年比(A/B)	令和3年度(B)
一般	-人	-%	146,743人
学生	-人	-%	12,268人
高校生、都外中学生	-人	-%	9,595人
65歳以上	-人	-%	20,277人
無料観覧者 (小学生、都内中学生、 教育活動、視察等)	-人	-%	150,737人
合計	-人	-%	339,620人
開館日数	-日	-%	277日
1日あたり観覧者数	-人	-%	1,226人

#### (2) 企画展

大規模改修工事に伴い、令和4年4月～令和7年度中まで休館のため休止。

### 2 分館（江戸東京たてもの園）

#### (1) 野外収蔵（分館）

「江戸東京たてもの園」において、現地保存が不可能な文化的・歴史的価値の高い建造物を移築・復元し、保存・展示する。さらに、復元建物の内部では生活民俗資料の展示を行うとともに、町並みを再現・創造し、優れた建築文化の理解に役立つ展示を行う。また、四季折々の行事や遊び、伝統工芸の実演を行う。

#### 〔入園者実績〕

区分	令和4年度(A)	対前年比(A/B)	令和3年度(B)
一般	98,494人	177.8%	55,368人
大学生・専門学校生	11,850人	176.1%	6,726人
高校生、都外中学生	3,066人	217.7%	1,408人
65歳以上	22,864人	220.5%	10,366人
無料観覧者 (小学生、都内中学生、 教育活動等)	77,809人	184.4%	42,184人
合計	214,083人	212.4%	100,771人
1日あたり観覧者数	688人	122.8%	560人

※開園日数 令和4年度：311日、令和3年度：200日

① 収蔵建造物の展示

- ・30棟の復元建造物内の展示により、江戸東京の生活や商いの諸相を明らかにする。
- ・季節ごとに演示品や建具の展示替えを行った。

② 情景再現事業

来園者に復元建造物の歴史的価値をより深く理解いただくため、季節ごとの催しとして、春に「こどもの日イベント」夏に「下町夕涼み」秋に「紅葉とたてもののライトアップ」冬に「たてもの園でお正月」などを実施した。

・こどもの日イベント

内 容 おつかいゲーム、竹馬、フラフープなど昭和の子供たちの遊びを再現。  
期 間 令和4年5月4日（水・祝）・5日（木・祝）  
会 場 園内全域  
参加者数 6,727人（当日来園者）

・下町夕涼み

内 容 東京下町地域の夏祭りのにぎわいの再現。  
期 間 令和4年8月6日（土）・7日（日）  
会 場 園内全域  
参加者数 12,611人（当日来園者）

・紅葉とたてもののライトアップ

内 容 園内の建造物にやさしい光を当て、夜のたてもの園の魅力を伝える。  
期 間 令和4年11月26日（土）・27日（日）  
会 場 園内全域  
参加者数 6,335人（当日来園者）

・たてもの園でお正月

内 容 正月2,3日の特別開園に正月にふさわしい神楽や和楽器の演奏を披露、また新成人のお祝いに人力車の優先搭乗や常盤台写真場スタジオの利用。  
期 間 令和5年1月2日（月）・3日（火）  
令和5年1月9日（月・祝）  
会 場 園内全域  
参加者数 令和5年1月2日（月）・3日（火） 9,020人（当日来園者）  
令和5年1月9日（月・祝） 1,086人（当日来園者）

・たてもの園フェスティバル

内 容 桜が芽吹く季節に、建築や歴史にかかわるワークショップを実施し、たてもの園の存在感を発揮（3月28日は開園記念日につき入園無料）。  
期 間 令和5年3月27日（月）・28日（火）  
会 場 園内全域  
参加者数 3,652人

・伝統工芸の実演

内 容	復元建造物内で、現代東京に伝わる各種の伝統工芸の製作実演を行い、職人の手わざを体感できるようにした。
実施項目	東京手描友禅／組紐／べっ甲工芸／陶芸／藍染／木版染め／村山大島紬／和裁／日本刺繍／鍔金具工芸／つりしのぶ／彫金／木版画／和裁／木工建具／椅子張／畳刺／染小紋／念珠／江戸木彫刻
期 間	令和4年4月～令和5年3月のうち24日間
会 場	江戸東京たてもの園 植村邸、川野商店他

・網島家年中行事

内 容	世田谷区岡本に立地していた復元建造物「網島家」を舞台に、農家の年中行事を再現した。
実施項目	梅干しづくり／盆、梅の土用干し／十五夜飾り／十三夜飾り／大根干し／小正月／繭玉飾り／節分
期 間	令和4年4月～令和5年3月
会 場	江戸東京たてもの園 網島家他

・ちょっと涼しいたてもの園

内 容	伝統的な「涼」のとり方から、ミストシャワーまで、暑い夏をのりきる暮らしの工夫を体感できるよう演出した。
実施項目	夏仕様の建具／風鈴の展示／グリーンゲートの設置／ミストシャワーなど
期 間	令和4年7月20日（水）～9月11日（日）
会 場	江戸東京たてもの園 川野商店、花市生花店、西川家別邸、八王子千人同心組頭の家他

③ 復元建造物の管理・保全

復元建造物の日常的な点検、復元建造物の修繕工事、建造物の燻蒸、展示清掃、襖・障子・畳 の替え工事及び劣化調査等を実施した。

④ 教育普及事業【ミュージアムトーク】

10月22日（土）	昭和の思い出、昭和のあこがれ 溝邊悠介（学芸員）
11月26日（土）	特別展「江戸東京博物館コレクション—東京の歩んだ道」みどころ 阿部由紀洋（学芸員）
12月24日（土）	大川邸のクリスマス 早川典子（学芸員）
1月28日（土）	特別展「江戸東京博物館コレクション—東京の歩んだ道」みどころ 沓沢博行（学芸員）
2月25日（土）	旧自証院霊屋 生田真菜（学芸員）
3月27日（月）	けんちくはかせに聞く 建物はこう楽しもう 米山勇（研究員）

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から年度の前半は休止。

⑤ 教育普及事業【スクールプログラム】

「昔暮らし体験」「職場体験学習」等を実施した。

- ・昔暮らし体験  
園内茅葺き民家内などでの囲炉裏・火鉢の見学や、各復元建造物での昔の道具探しなどを実施した。  
参加人数 24校 2,212名

- ・職場体験学習
  - ・職場体験 6校 29名

- ・教員研修
  - ・小金井市初任者研修  
2日間 延べ19名
  - ・西東京市中堅教員研修  
3日間 2名
  - ・八王子市中堅教員研修  
3日間 1名

## ⑥その他の事業

### 【東京大茶会 2022】

令和4年10月29日(土)・30日(日) 入園者数 9,193人

### 【ビジターセンター展示】

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から休止

## (2) 展覧会

### ①「縄文 2021—縄文のくらしとたてもの—」

会期：令和3年10月9日(土)～令和4年5月29日(日)

※令和4年1月11日～3月21日は臨時休園のため休止

内容：本館で開催した「縄文2021—東京に生きた縄文人—」と連動した展覧会。園の展示では、継承している旧武蔵野郷土館資料を活用し、縄文の暮らしぶりを紹介したことに加え、建築の博物館として日本各地で復元されている竪穴住居の主なものを取り上げた。また園内には復元縄文住居を制作、その制作過程を映像で紹介した。

令和4年度会期中入園者：42,216人

担当：阿部由紀洋(学芸員)

### ② 特別展江戸東京博物館コレクション—東京の歩んだ道

会期：令和4年6月25日～令和5年2月12日(194日間)

内容：休館中の本館コレクションを活用した展示をたてもの園で実施。学校団体等ニーズに応える。

会期中入園者：128,787人

担当：阿部由紀洋(学芸員)

### ③ 特別展日本のタイル100年 — 美と用のあゆみ

会期：令和5年3月11日～8月20日(143日間) ※令和4年度は20日間

内容：タイル生産地として知られる愛知県常滑市、岐阜県多治見市の博物館二館が有す

るコレクションを中心に、タイルという建築素材を通して、その美術的な側面に触れつつ、明治期以降の洋風化や衛生観念の確立、防火対策や美観の変化といったたてもものを取り巻く歴史と文化を紹介。

会期中入園者：19,165人

担当：沓沢博行、生田真菜（学芸員）

## II 特別展示

大規模改修工事による休館のなか、海外の博物館と共催した特別展示を実施し、江戸東京の歴史と文化を発信した。コロナ禍で開催館との連絡・調整が難しい状況であったが、無事に展覧会を開催することができた。また、オンライン展示やデジタル図録、当館学芸員による展示解説（日本語）の動画を公開し、展覧会鑑賞の新たなモデルを構築した。

令和4年度の特別展示は、延べ計95,127人の観覧者を迎えることができた。

### 1 国際交流展「隅田川—江戸時代の都市風景」展

期 間 令和4年9月7日（水）～10月23日（日） 44日間

会 場 韓国・ソウル歴史博物館 1階 A展示室

主 催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、ソウル歴史博物館

内 容 韓国・ソウル歴史博物館と20年以上続けてきた相互交流の成果として開催した展覧会。江戸の人々にとって輸送の大動脈であると同時に江戸の名所を数多く抱えた川として深く愛され、親しまれてきた「隅田川」について、隅田川のゆかりの絵画や歴史資料をもとに、江戸の人々の生活と文化を江戸東京博物館のコレクションを中心に韓国で初めて紹介した。また、新しい取り組みとしてオンライン展示やデジタル図録を制作・公開し、国内外に向けて「江戸博コレクション」の国際的価値を示した。

観 覧 料 無料

入場者数 79,581人（1日平均 1,809人）

担 当 朴 美姫、岩崎 茜（事業企画課展示企画係）

### 2 国際交流展「いきもの：江戸東京 動物たちとの暮らし」展

期 間 令和4年11月9日（水）～令和5年1月21日（土） 46日間

会 場 パリ日本文化会館 展示ホール（101bis quai Jacques Chirac 75015 Paris France）

主 催 独立行政法人国際交流基金 パリ日本文化会館、  
公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館

内 容 国際交流基金パリ日本文化会館と共催し、江戸東京の人々と動物の関係性をテーマに、フランス国内で初めて江戸東京博物館のコレクション展を行った。動物との暮らしを楽しむ人々が描かれた浮世絵や着物、玩具など、多岐にわたる分野の所蔵品を展示し、人と動物の共生の素晴らしさ、その前提となる豊かな江戸東京の自然環境について紹介した。また、主にフランス国内外の日本人に向けて、当館学芸員による展示解説（日本語）の動画をSNSで発信するなど、展覧会およびコレクションの広報に努めた。

観 覧 料 一般 5€、割引 3€

入場者数 15,546人 (1日平均 338人)  
 担 当 小山周子、川口友子 (事業企画課展示企画係)

### Ⅲ 資料収集

#### 1 資料収集

貴重な文化遺産を継承していくため、東京都と調整を図りながら厳選した資料収集を行った。

令和4年度は、資料収蔵委員会(収集部会・評価部会)を令和4年9月21日・22日、令和5年2月9日に開催し、購入・寄贈資料を付議した。

(1) 令和4年度資料収集点数 (単位:点)

区 分	購 入	寄 贈	その他	計
標 本 資 料	211	63		274
図 書 資 料	540	0	4,647	5,187
映像音響資料	2	185		187
合 計	753	248	4,647	5,648

(2) 主な収集資料

[主な寄贈資料]

分 類	資 料 名
考 古	神田上水石枘
絵 画	七福神宝船図「ながきよの」
印刷物	東京大震災炎地図 四谷新宿著名商店聯合広告
生活民俗	紙製そろばん
書 跡	サイン色紙「浪曲天狗道場」

#### 2 資料制作

蹄齋北馬筆「隅田川百花園図」(3幅対)のうち「隅田川に富士」図1幅の複製を制作した。

#### 3 収蔵品の購入

常設展・企画展・特別展に有効に利用される資料、及び利用頻度が高く保全面で留意する必要がある資料を優先し、資料総体の消耗を防ぎつつ、魅力ある博物館運営が図れるよう、資料を購入した。

[主な購入資料]

分 類	資 料 名
絵画	竹に群雀図
絵画	正月飾図
文書類	奏者番留書

生活民俗	御誕生人形
印刷物	海運橋 第一銀行雪中

## IV 資料管理・保全

### 1 資料管理・保全

#### (1) 資料の修理

48 点の修理を行った。

[内 訳]

資料分類	点数
標本資料	11
絵画	2
工芸品	1
文書類	2
典籍	4
印刷物	2
映像音響資料	0
図書資料	37

#### (2) 資料の収蔵

令和 5 年 3 月末日現在、622,672 点（データ点数）を収蔵、管理している。

【内 訳】

標本資料	303,719 点
映像音響資料	42,646 点
図書資料	276,307 点

#### (3) 資料の貸出

令和 5 年 3 月末日現在、博物館等の依頼に応じて、17 件（316 点）の資料を貸し出した。

#### (4) 寄託資料の更新

5 件の寄託資料の更新を行った。

### 2 コンピュータシステムの運営

資料の収集から資料の各種事業(常設・企画展示、調査研究、資料のメンテナンス、貸出等)への活用までを支援するとともに、来館者に対して図書室の端末等により資料の情報を文字と画像で提供するため、コンピュータシステム(資料情報システム)の管理及び運用を行った。

## V 調査・研究

### 1 書籍の編集・刊行

- (1) 『東京都江戸東京博物館紀要 第 13 号』の刊行  
発行年月日 令和 5 年 3 月 10 日



発行部数 1,300部

構成

1. 橋本 由起子「夏目漱石「明暗」反古草稿」
2. 朴 美姫「【資料紹介】描かれた朝鮮通信使と御座船—当館蔵「国書先導船図巻」を読み解く」
3. 早川 典子「ヨーロッパ野外博物館会議（AEOM）参加報告とスカンセン（Skansen）について」
4. 春木 晶子「江戸東京博物館公式アプリ「ハイパー江戸博」の開発—ミュージアムのDX/デジタル技術の活用/オンライン展開の新たな事例—」
5. 松井 かおる「「東京郷土資料陳列館」に関する企画展及び地域展 実施報告」
6. 肥留間 博「江戸上水の石枘—遺物と史料による集成および構造解明への第一段階—」
7. 平田 健「東京郷土資料陳列館旧蔵の考古学模型標本—考古学者・片倉信光による東京市の石器・古墳時代展示について—」
8. 岩崎 茜「【資料紹介】静観房好阿の『怪談楸笈』について—怪異小説から談義本への展開—」
9. 湯川 説子「永井荷風と銀座」
10. 田原 昇「江戸幕府御家人の生計と内職—江戸手工業の一側面—」

(2) 『江戸東京博物館史料叢書14 米屋田中家 明治年間日記 2』の刊行

発行年月日 令和5年3月3日

発行部数 650部

構成

- 日誌 明治九丙子一月吉日（一月一日～十二月廿八日）  
日誌 明治十丁丑年一月吉日（一月一日～十二月四日）  
日記 戊寅明治十一年一月ヨリ（一月一日～三月十七日）  
日記 明治十四年辛巳一月吉日（一月一日～十二月三十一日）  
日記 明治十五壬午年一月吉日（一月一日～十二月三十一日）  
「日雇人足請負商人米屋田中家の明治維新」市川寛明

(3) 『東京都江戸東京博物館調査報告書 第35集 モース研究（英語版）』の刊行

発行年月日 令和5年2月24日

発行部数 100部

## VI 図書室等の運営

博物館資料として収集した図書の保存及び閲覧、レファレンスサービスを行った。

大規模改修工事に伴い、令和4年度は、7階図書室に収蔵していた図書資料（約22万点）を外部倉庫に搬出、管理を行うとともに、令和5年度からの図書閲覧の出納の仕組みを整えた。

休館中は、リニューアル準備室内の図書室において、事前予約制により閲覧サービスを継続。令和5年3月20日から試行を行い、令和5年度から本格実施。

## 1 図書室利用状況

入室者数（リニューアル準備室）	4人
閉架図書請求数	8冊
マイクロフィルム請求数	3件
国立国会図書館デジタル化資料送信サービス対応数	0点
図書複写申請数（モノクロ）	31枚
図書複写申請数（カラー）	1枚
マイクロフィルム複写申請数	495枚
国立国会図書館デジタル化資料送信サービス複写申請数	0枚
レファレンス対応数	52件
インフォメーション対応数	24件
WEB-OPAC検索利用数	4,293,554件
ALC検索利用数	91,036件

## 2 夏休み！こども歴史学習相談

大規模改修工事に伴い、令和4年4月～令和7年度中まで休館のため休止。

## 3 図書室内ミニ展示

大規模改修工事に伴い、令和4年4月～令和7年度中まで休館のため休止。

## 4 特集図書コーナー

大規模改修工事に伴い、令和4年4月～令和7年度中まで休館のため休止。

## 5 職場体験受入

大規模改修工事に伴い、令和4年4月～令和7年度中まで休館のため休止。

## VII 教育普及

### 1 えどはくカルチャー

都市歴史研究室が行っている調査研究活動の成果をわかりやすく解説する講座、特別展・企画展の関連講座、合計12講座を開催した。

令和4年度は休館中のため、会場をたてもの園、東京都美術館で開催した。

期 間	令和4年6月30日（木）～令和5年3月15日（水）
会 場	江戸東京たてもの園、東京都美術館
受 講 料	各講座 1,000円
受講者数	1,112人
講 座 数	12講座

春講座 計3回 (286人)

回数	実施日	講座名	講師	参加人数
1	6月30日(木)	日本の高層建築のあゆみ① 古代～近世の高層建築	米山 勇	37
2	7月6日(水)	公園×エリアガイド 上野公園の夏 蓮と不忍池	田中 実穂	116
3	7月27日(水)	江戸の便所事情—どこにある？どこです？—	田原 昇	133

夏講座 計3回 (315人)

回数	実施日	講座名	講師	参加人数
4	8月31日(水)	上野と建築家と —前川國男を中心に—	早川 典子	109
5	9月22日(木)	武蔵野の秋 詠まれ読まれた秋の植物	田中 実穂	51
6	9月29日(木)	文化財をゆったりマニアックに愛でる～【新版】上野編	米山 勇	155

秋講座 計3回 (240人)

回数	実施日	講座名	講師	参加人数
7	10月26日(水)	日本の高層建築のあゆみ② 近現代の高層建築	米山 勇	38
8	11月30日(水)	東京都美術館「源氏物語と江戸文化」関連講座 ①源氏物語から読む江戸時代	杉山 哲司	114
9	12月7日(水)	東京都美術館「源氏物語と江戸文化」関連講座 ②文学から文様へ—画題としての源氏物語—	川口 友子	88

冬講座 計3回 (271人)

回数	実施日	講座名	講師	参加人数
10	1月26日(木)	文化財をゆったりマニアックに愛でる～浅草編～	米山 勇	167
11	2月16日(木)	築地小劇場—所蔵資料からみる新劇運動	岡本 純子	49
12	3月15日(水)	【江戸東京たてもの園セミナー】特別展「日本のタイル100年—美と用のあゆみ」関連講座 震災復興とタイル	沓沢 博行	55

## 2 国際交流事業

### (1) 日中韓博物館国際シンポジウム

東京都江戸東京博物館と中国・北京首都博物館、韓国・ソウル歴史博物館、中国・瀋陽故宮博物館（平成18年度より参加）の4館で首都における歴史博物館の交流の一環として、平成14年度から毎年輪番制で国際シンポジウムを開催している。

令和4年度はソウル歴史博物館にて9月5日に開催した。

### (2) ICOM（国際博物館会議）CAMOC（都市博物館のコレクション・活動国際委員会）会議

令和4年度 ICOM CAMOC 年次会議は令和4年8月22日から23日 プラハ市博物館でオンライン開催され、当館職員がリモート参加した。

## 3 えどはく寄席

大規模改修工事に伴い、令和4年4月～令和7年度中まで休館のため休止。

## 4 ふれあい体験教室

大規模改修工事に伴い、令和4年4月～令和7年度中まで休館のため休止。

## 5 ミュージアムトーク

大規模改修工事に伴い、令和4年4月～令和7年度中まで休館のため休止。

## 6 博物館ボランティア

市民とのコミュニケーションを豊かにし、市民の協力や協働のもとに生涯学習社会にふさわしい開かれた博物館を目指して館の活性化を図るため、江戸東京博物館（本館）では平成9年10月1日、江戸東京たてもの園（分館）では平成8年12月4日からボランティア制度の試行、実施を行った。

本館は、今まで以上にホスピタリティマインドの精神に則ったお客様サポートを目指すため、新たなボランティア活動の構築を目指す。

分館ボランティア

① 登録人数（令和5年3月31日現在） 119名

② 活動日時

火曜日～日曜日（開園日）

9時45分～17時（4月～9月）、9時45分～16時（10月～3月）

曜日班に分かれ毎日20～30名で活動

③ 活動内容

茅葺民家の囲炉裏・かまどでの燻煙、来園者へのガイド、たてもの園事業への協力

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い、分館ボランティアは活動休止

## 7 えどはく移動博物館

大規模改修工事期間中、地理的に離れていることやハンディキャップを抱えている等の理由で、来館が困難な人や組織・学校を対象に、出張のワークショップや展示を行う。

令和4年度は小学校・特別支援学校でのワークショップ、小学校での展示などを行った。

・出張ワークショップ 19件、38回      ・参加人数 830人

・出張展示 3件

## 8 人材の育成

江戸東京の歴史と文化に関わる情報と博物館に対する理解を深めるため、さまざまな研修等を実施し、人材育成を図った。

### (1) 学芸員実習の受入れ

将来の博物館を担う人材の育成と、当館の博物館活動の社会還元のために、学芸員資格取得に必要な博物館実習を受け入れた。大規模改修工事により本館が使用できないため、分館のたてもの園で実施した。

申込数 20校  
 受入者数 16名  
 期間 令和4年8月24日(水)～9月1日(木)

### カリキュラム

	実施日	スケジュール	実施内容	実施形式	担当係
1	8月24日 (水)	午前	【オリエンテーション】たてもの園係長挨拶、実習担当者紹介、実習生自己紹介、諸注意、保険料徴収		展示事業係
			【江戸東京博物館の概要】	講義	事業企画課長兼たてもの園長
		午後	【博物館・学芸員の現状と課題】	講義	展示事業係
			【常設展示・教育普及活動】常設展示、教育普及、ボランティア	講義	展示事業係 たてもの園係
			【園内見学】	見学	たてもの園係
【事務連絡】		展示事業係			
2	8月25日 (木)	午前	【朝会】日誌回収、事務連絡		展示事業係
			【展示実習について】	講義	展示事業係
			【資料の収集と保管】資料の収集と保管	講義	資料係
		午後	【バックヤード・収蔵庫見学】見学	見学	たてもの園係
			【資料の収集・撮影・保管】資料カード作成、掛軸・巻子の扱い、写真撮影	実習	展示事業係 たてもの園係
【事務連絡】		展示事業係			
3	8月26日 (金)	午前	【朝会】日誌回収、事務連絡		展示事業係
			【野外博物館の活動】特別展・企画展	講義	たてもの園係
			展示実習の説明		展示事業係
		午後	【展示実習】資料カード作成、資料撮影	実習	展示事業係 たてもの園係
			【展示実習】準備構想、展覧会基本計画の立案、チラシ案作成、キャプション作成	実習	展示事業係
【事務連絡】事務連絡		展示事業係			

4	8月30日 (火)	午前	【朝会】日誌回収・事務連絡		展示事業係
			【展覧会のつくり方】	講義	展示事業係
		午後	【展示実習】展覧会基本計画・チラシ案作成、展示方法、各自検討、キャプション作成	実習	展示事業係
			【事務連絡】		展示事業係
5	8月31日 (水)	午前	【朝会】日誌回収、事務連絡、展覧会基本計画・チラシ案提出		展示事業係
			【展示実習】展示作業資料搬入、演示具搬入、展示作業	実習	展示事業係 たてもの園係
		午後	【展示実習】展示構想・チラシ、キャプション検討会、講評	実習	展示事業係
			【事務連絡】事務連絡		展示事業係
6	9月1日 (木)	午前	【朝会】日誌回収、事務連絡		展示事業係
			展示の講評	実習	展示事業係
			【講義】たてもの園の普及事業および課題の説明	講義	たてもの園係
		午後	【実習】園内見学と検討	実習	たてもの園係
			【実習】課題の検討と資料作成	実習	たてもの園係
			【実習】発表、講評	実習	たてもの園係
【学芸員実習まとめ】反省会、事務連絡		展示事業係			

## (2) 博学連携

当館の入館者増とリピーターの確保及び平成14年度から実施された完全学校週五日制と「総合的学習」に対応するため、博物館と学校との連携事業を展開した。当館を学習の場として希望する生徒を対象に「訪問学習」を実施した。

今年度は、オンラインによる対応とリニューアル準備室での受入れを行った。

〈訪問学習の実施〉

参加学校数 3校

## (3) その他の研修受入れ

### ① インターンシップ

参加人数 0名

### ② 首都大学東京現場体験型インターンシップ

参加人数 0名

## VIII 施設維持管理・貸出等

### 1 博物館管理運営

東京都江戸東京博物館（本館及び分館）の指定管理者として、館の円滑な管理運営を図るため、各種会議・委員会を開催した。

#### (1) 東京都江戸東京博物館運営委員会

館の運営及び事業活動について、広い視野から助言を得、適正かつ円滑な館運営に資するため、東京都江戸東京博物館運営委員会を設置している。

##### ○ 令和4年度東京都江戸東京博物館運営委員会

日 時 令和5年3月15日（金）16時30分から18時まで

場 所 リニューアル準備室会議室

- 内 容
- 1 令和4年度事業実績について
  - 2 令和5年度事業計画について
  - 3 江戸東京たてもの園復元建造物部会の実施報告について
  - 4 その他

##### ○ 東京都江戸東京博物館運営委員会委員（令和5年3月末現在）

会 長 市村 佑一（前江戸川大学学長、学校法人共立女子学園理事）

副会長 久留島 浩（国立歴史民俗博物館特任教授）

委 員 池山 世津子（元渋谷区教育長）

委 員 伊東 孝（産業遺産情報センター研究主幹、元日本大学教授）

委 員 後藤 治（工学院大学理事長、東京都江戸東京博物館外部評価委員）

委 員 本郷 恵子（東京大学史料編纂所長）

委 員 望月 一樹（神奈川県立歴史博物館館長）

委 員 山梨 絵美子（千葉市美術館長、東京都江戸東京博物館資料収蔵委員）

委 員 吉見 俊哉（東京大学大学院情報学環教授）

委 員 和田 幹夫（全国小学校社会科研究協議会推薦、板橋区立上板橋第四小学校長）

##### ○ 令和4年度第1回東京都江戸東京博物館運営委員会復元建造物部会

令和4年7月8日（金）11時から12時30分まで

審議事項

- ・長期修繕計画に基づく修繕工事（R4）実施設計について
- ・小寺醤油店 漆喰壁剥離の補修について

##### ○ 令和4年度第2回東京都江戸東京博物館運営委員会復元建造物部会

令和5年2月21日（火）13時30分から15時30分まで

審議事項

- ・ビジターセンター（旧光華殿）長期修繕計画に基づく修繕工事实施設計について
- ・鍵屋ほか3棟長期修繕計画に基づく修繕工事について
- ・解体材の保存期間について

- 東京都江戸東京博物館運営委員会復元建造物部会専門委員（令和5年3月末現在）
  - 部会長 中谷 礼二（早稲田大学理工学術院創造理工学部教授）
  - 専門委員 津村 泰範（長岡造形大学造形学部建築・環境デザイン学科准教授）
  - 専門委員 山崎 鯛介（東京工業大学博物館教授）

## （2）外部評価委員会

当該年度の事業実績につき、設定目標が効果的に実行されているか館内部において自己評価し、事務改善に結び付けるために内部評価を行うとともに、その内部評価による事業実績報告について、客観的な視点から、検証を行うため外部評価委員会を設置している。

- 令和4年度東京都江戸東京博物館外部評価委員会
  - 今回はオンラインによる開催となった。
  - 日時 令和4年5月11日（水）10時30分から12時まで
  - 内容 1 令和3年度外部評価総合評定について
  - 2 令和4年度事業計画について

- 東京都江戸東京博物館外部評価委員会委員（令和5年3月末現在）
  - 委員長 半田 昌之（日本博物館協会専務理事）
  - 委員 沓澤 宣賢（東海大学名誉教授）
  - 委員 村田 孝子（美容考古学研究所）
  - 委員 後藤 治（工学院大学理事長）
  - 委員 児島 薫（実践女子大学教授）

- 令和4年度江戸東京たてもの園外部評価委員会
  - 今回は書面による開催となった。
  - 内容 1 令和3年度外部評価総合評定について
  - 2 令和4年度事業計画について

- 江戸東京たてもの園外部評価委員会委員（令和5年3月末現在）
  - 委員 安西 香月（三鷹の森ジブリ美術館館長）
  - 委員 梅原 啓太郎（小金井市教育委員会生涯学習部長）
  - 委員 深澤 靖幸（府中市郷土の森博物館館長）
  - 委員 藤井 恵介（東京大学名誉教授）
  - 委員 村井 良子（プランニング・ラボ代表）

## 2 本館維持管理

東京都江戸東京博物館の施設・設備及び物品の維持管理等を行った。また、東京都による大規模改修工事の準備として各種設備の撤去や敷地内にリニューアル準備室を設置した。

休館中の貸出施設の貸出は休止したが、多くの都民の方々が伝統芸能の魅力や文化と歴史に触れることができるよう都内ホールで自主企画公演を4回開催した。

## 3 たてもの園維持管理

江戸東京たてもの園の施設・設備及び物品の維持管理、観覧料等の徴収事務、利用者サービス業務等を行った。



#### 4 野外収蔵（庭園保安全管理）

江戸東京たてもの園内の庭園保全のため、植栽の維持・管理業務等を行った。

#### 5 AVシステムの運営

大規模改修工事による休館のため、映像ライブラリー及び小ホールの運営は、令和4年4月～令和7年度中まで休止するが、公開作品数増量のためのデータ記録媒体の変換作業や運営方法の検討等、再開館に向けての準備を行った。

### Ⅸ 広報事業

#### 1 本館

種別	名称	実績
館内案内	江戸東京博物館 案内リーフレット	休館中のため制作なし
定期刊行物	江戸東京博物館ニュース	日本語版・英語版年2回発行 日本語版 計 50,000部 英語版 計 6,000部
取材対応		新聞・テレビ番組などによる取材に対応した。 対応件数 164件
インターネット ホームページ	日本語版、英語版、中国語版、 ハングル版	わかりやすいホームページの運用を目指した。 アクセス件数 1,469,111件
スマートフォン サイト	日本語版、英語版、中国語版、 ハングル版	ホームページと連動したスマートフォンサイトでの情報発信
その他の広報	PR活動	ハイパー江戸博プレス内覧会 1回
	有料広告の出稿	SNS広告 8日間
	ソーシャルメディアの活用	Twitterフォロワー数 39,391 Instagramフォロワー数 2,136

#### 2 分館

種別	名称	実績
館内案内 ガイド	江戸東京たてもの園 案内リーフレット	日本語版 150,000部 英語版 0部 中国語版(簡体字) 0部 中国語版(繁体字) 0部 韓国語版 0部 合計 150,000部
定期刊行物	たてもの園だより	年2回発行 計22,000部
取材対応		新聞・テレビ番組などによる取材に対応した。 対応件数 173件
その他広報	有料広告の出稿	雑誌に展覧会の情報を掲出

	ソーシャルメディアの活用 (令和5年3月末現在)	ホームページアクセス件数 7,870,777件 Twitterフォロワー数 27,917人 ブログ、ツイッター、フェイスブックにて随時情報発信
--	-----------------------------	--

### 3 読売新聞「江戸博 蔵めぐり」掲載実績

回	掲載日	執筆者	資料名	タイトル
1	4月2日	飯塚 晴美	浅草公園遊覧之図	凌雲閣望み 花見客集う
2	4月16日	春木 晶子	嵯峨ノ釈尊開帳ノ図 回向院境内ノ図	両国 聖と俗の娯楽空間
3	4月23日	市川 寛明	募帖	出版用原稿 広く募る
4	4月30日	阿部 由紀洋	骨製銚	逆円錐形 縄文人の知恵
5	5月21日	寺田 早苗	昭和大東京百図絵版画第二十七景 五月のスポーツ・シーズン神宮外苑	競技場 柔らかな日差し
6	5月28日	岡本 伽椰	1934年型フォード	昭和初期 街駆けた「円タク」
7	6月4日	遠藤 美織	関東大震災で溶けた硬貨	火災の激しさ 物語る
8	6月18日	丹藤 真子	刺子半纏	町火消好み 水の意匠
9	6月25日	寺田 早苗	大願成就有ケ瀧綺 金太郎鯉つかみ	少女と金太郎「見立て」の妙
10	7月2日	春木 晶子	『東都歳時記』巻二「盛夏路上の図」	水まき、水売り 盛夏の江戸
11	7月16日	阿部 由紀洋	上水高札	玉川上水 禁止行為示す
12	7月23日	春木 晶子	東都両国ばし夏景色	大花火 江戸っ子ひしめく
13	7月30日	沓沢 博行	絵葉書「浅草公園第六区」	大正の浅草 活動写真街
14	8月27日	阿部 由紀洋	関東大震災で焼けた皿	大火災の痕跡 模様
15	9月3日	春木 晶子	和漢百物語	河童の相撲 見守る力士
16	9月17日	沓沢 博行	武蔵野鉄道沿線名所案内	駅や行楽地 鳥観図風に
17	10月1日	朴 美姫	東都名所年中行事八月向じま花屋敷秋の花ぞの	秋の七草 眺める江戸美人
18	10月15日	岩崎 茜	隅田川三美人図	川沿い料亭 月見楽しむ
19	10月22日	岩崎 茜	東京名所吾妻橋向嶋真景	鉄橋 文明開化を象徴
20	10月29日	秋間 敬代	小学唱歌之略図	和洋折衷 明治の唱歌集
21	11月5日	鈴木 彩加	奥御殿御祝儀双六	奥御殿の行事 ユーモラスに
22	11月19日	津田 紘子	中村座内の図	芝居小屋 観客生き生きと
23	11月26日	小山 周子	武江産物志	江戸の動植物 地道に記録
24	12月3日	川口 友子	昆虫蒔絵螺鈿印籠	虫の羽や草の葉 螺鈿で
25	12月17日	川口 友子	天竺馬爾加国の出生大象の図	人気の見世物 象を宣伝

26	1月21日	米山 勇	絵はがき「近代建築の美を表はせる霞ヶ関新国会議事堂」	完成間近 念願の議事堂
27	1月28日	溝邊 悠介	綱島家	祭りや正月 専用オオガマ
28	2月4日	丹藤 真子	古今狂歌撰 朱楽菅江	僧衣の鬼 悲哀とユーモア
29	2月18日	渡邊 華	東京歌劇座第2回上演番組	浅草オペラ 爆発的人気
30	2月25日	宇野 千都	東京十二月之内二月	梅の名所 眺める美人
31	3月4日	須田 清香	坤輿万国全図	世界地理 飽くなき好奇心
32	3月18日	沓沢 博行	平和記念東京博覧会全景鳥瞰図	「タイル」名称統一の契機に
33	3月25日	生田 真菜	銀座煉瓦街の煉瓦	火災対策 窯築き大量製造
34	4月1日	丸山 はるか	鍵屋（居酒屋）	昭和の居酒屋 情景再現